

AU 代表部経済月報(2023年7月)

アフリカ全般

- 第3回中国-アフリカ経済貿易博覧会が開催され、103億ドル相当のプロジェクトが調印された(3日、Africa News)。
- アフリカの食料安全保障が懸念される中、韓国はアフリカ8か国とコメの増産と輸入依存削減を支援する協定に調印する予定(6日、REUTERS)。
- アフリカの12か国が今後2年間で1800万回分のマラリア・ワクチンの投与を受けることになる(6日、UN News)。
- AUC とセネガル、マラリア撲滅5周年記念ハイレベル式典を開催(7日、AU 事務局)。
- アフリカ CDC、カメルーンにシーケンシング機器を引き渡し(7日、アフリカ CDC 事務局)。
- 西アフリカ経済通貨同盟、マリの資格停止処分を解除(10日、AA)。
- ナイジェリア大統領、ECOWAS 議長に選出(10日、AA)。
- アフリカ開発銀行は、アジア開発銀行と新たに10億ドルのエクスポージャー交換を行い、開発融資能力を高める(20日、アフリカ開発銀行事務局)。

ロシア-アフリカサミット

- 今後3~4ヶ月の間にロシアがアフリカ6か国に穀物を無償提供すると発表(28日、AA)。
- ジンバブエとエチオピア、ロシアとの原子力協力協定に署名(28日、WNN)。
- ウクライナ戦争終結への道筋を見いだすという要求をほとんど示せないまま、同サミット終了(30日、AP)。
- ロシア、アフリカ諸国とのビザを免除する意向(31日、Egypt Independent)。

アフリカ各国

- 南アフリカ、10億ドルのグリーン水素ファンドを設立(2日、VOA)。
- ナイジェリア、5か月間にわたる原油輸出で110億ドルを得る(6日、Leader ship)。
- エチオピアは2024年に史上初の証券取引所を開設する準備を進めている(6日、UNECA 事務局)。
- セネガルのマッキー・サル大統領、論争的となる3期目を断念(7日、Africa News)。
- ナイジェリア、致死性のジフテリア発生を確認(7日、BBC)。
- ケニアとイラン、5つの MOU(両国が情報通信技術、漁業、動物衛生、畜産、投資促進などの分野で協力するもの)に署名(12日、The East African)。
- アンゴラとコンゴ民主共和国は、コンゴの鉱山地域と大西洋を結ぶ鉄道路線を復旧するための共同プロジェクトを発表(12日、Africa News)。
- ナイジェリア、自国の経済を小麦生産に依存させようとしている(24日、VOA)。
- ガボン、アフリカ初の債務と自然の交換入札を開始(25日、Reuters)。
- スーダンの戦禍で航空会社の戦争保険料が2倍に(26日、Reuters)。
- サファリコム、3月までにエチオピアで200万人の M-Pesa 顧客を獲得(27日、The East African)。
- 中国の医師がエチオピアで無料医療サービスを提供(31日、Peoples Daily Online)。

AfCFTA

- AfCFTA スキーム下にて、カメルーンが輸入した20トンの樹脂は、塗料製造会社向けであり、サブリージョンで初めて特惠関税の恩恵を受けた(3日、RFI)。
- AfCFTA ユースシンポジウムの開催が8月21日から23日に変更(11日、AfCFTA 事務局)。

●アフリカ8か国が GTI に基づいて輸出を開始する中、ナイジェリア製造業者協会の輸出グループは地元の輸出業者を訓練した(24日、AfCFTA 事務局)。

以上